

第13章 方法書の記載事項の修正の内容

第13章 方法書の記載事項の修正の内容

県知事意見の内容等を総合的に検討し、方法書の記載事項について修正した内容は、表 13-1 に示すとおりである。

表13-1(1) 方法書の内容について変更した事項

区分	変更事項	方法書 記載事項 [変更前]	準備書 記載事項 [変更後]	変更理由	
事業計画	処理能力の変更	約 330 トン/日	約 270 トン/日	施設の規模は、将来人口の推計値、減量化・資源化施策の効果、災害廃棄物の処理等を考慮のうえ、方法書段階より見直しを行い、約 330 トン/日から約 270 トン/日としました。	
調査、 予測・ 評価	大気質	調査地点数 周辺 5 地点で 実施する。	周辺 7 地点で 実施する。	大気調査については、知事意見の内容「大気測定 の箇所について、主要な方向に位置する集落への 影響だけでなく、すべての近隣への集落への環境 影響についても調査、予測、評価を行うこと」を 踏まえ、対象事業実施区域東側の三谷地区及び西 側の高津原地区についても新たに調査地点として 追加し、調査、予測及び評価を行いました。	
	騒音・ 振動	調査地点数	周辺 5 地点で 環境騒音調査 及び環境振動 調査を実施す る。	周辺 6 地点で 環境騒音調査 及び環境振動 調査を実施す る。	知事意見の内容「調査、予測及び評価の地点とし て、事業所敷地境界を追加すること。また、鳥取 県公害防止条例（昭和 4 6 年鳥取県条例第 3 5 号） 第 5 8 条に規定する深夜騒音規制が適用されるの で、留意すること。」を踏まえ、事業所敷地境界の 地点を追加しました。また、鳥取県公害防止条例 （昭和 4 6 年鳥取県条例第 3 5 号）第 5 8 条に規 定する深夜騒音規制が適用されることから、施設 騒音の評価に際しては、騒音規制法等に基づく規 制基準に照らした評価のほか、当該規制基準との 整合による評価についても行いました。
			沿道 1 地点で 交通騒音調査 及び交通振動 調査を実施す る。	沿道 2 地点で 交通騒音調査 及び交通振動 調査を実施す る。	工事用車両等が河原インター線及び生活道路の一 部を利用する計画としていることから、生活道路 沿道 1 地点を沿道の騒音振動調査地点として追 加しました。
悪臭	調査地点数	5 地点（環境 騒音及び環境 振動と同一地 点）で実施す る。	6 地点（環境 騒音及び環境 振動と同一地 点）で実施す る。	方法書において、悪臭調査地点は、環境騒音調査 と同一地点で実施することとしているため、騒音 の地点数変更に伴い調査地点数を 1 地点追加し ました。	


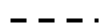


表 13-1(2) 方法書の内容について変更した事項

区分	変更事項	方法書 記載事項 〔変更前〕	準備書 記載事項 〔変更後〕	変更理由
調査、 予測・ 評価	水質 (底質・ 地下水を 含む)	調査地点数 河川 2 地点 水路 7 地点 池 4 地点 地下水 2 地点 計 15 地点	河川 2 地点 水路 8 地点 池 5 地点 地下水 2 地点 計 17 地点	水質及び底質調査については、ため池の管理者等とも協議のうえ、方法書で記載した郷原地区のため池 1 箇所を取り止め、三谷地区のため池 2 箇所を追加することとしました。また、上記のため池に接続する水路 1 箇所について追加することとしました。
	土壌	調査地点数 5 地点(大気質 と同一地点)と する。	7 地点で実施 する。	方法書において土壌汚染調査地点は、大気質調査と同一の地点において測定することとしているため、大気質において追加する 2 地点を新たに調査地点として追加しました。
	植物 及び 動物	調査項目 植物相の分布 重要な種の分 布等 動物相の生息 状況 注目すべき動 物の生息状況 等	左記のとおり。	植物及び動物については、知事意見の内容「現地調査の結果により貴重な種が確認された場合は必要に応じてその種に着目した追加調査、予測及び評価を行うこと」及び学識者ヒアリングを踏まえ、周辺で確認される可能性がある猛禽類を対象とした調査を追加しました。また、現地調査で確認されたホンゴウソウ、ツキノワグマについては分布に関する情報を蓄積するため追加調査を行いました。
	水生 生物	調査範囲 水生生物の生 息環境が存在 していると想 定される植物 調査と同じ範 囲。	水生生物の生 息環境が存在 していると想 定される水質 調査と同じ範 囲。	知事意見の内容「水生生物の調査範囲は、水質の調査範囲と同範囲とし、適切な調査地点を設定のうえ、調査、予測及び評価を行うこと」を踏まえ、調査範囲については、水質調査範囲と同範囲とし、周辺地域の水生生物を把握するため、三谷川・柏谷川合流点付近、釜口排水路の 2 ヶ所を新たに調査地点として追加しました。
	景 観	調査地点 霊石山、河原城 及び近隣集落 等とする。	霊石山、河原 城、近隣集落及 び JR 因美線の 車窓。	知事意見の内容「因美線沿線など施工区域を視認できるその他の地点についても、調査、予測及び評価の対象に含めることを検討すること」を踏まえ、JR 因美線の車窓からの景観についても調査、予測及び評価の対象に含めました。

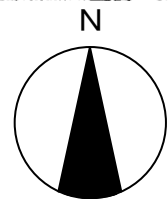
準備書に係る県知事意見の内容等を踏まえ、変更箇所（調査地点数もしくは調査範囲の変更等）が分かるよう、比較図として整理した結果は図 13-1.1(1)～図 13-1.8(2)に示すとおりである。準備書において追加した地点については、着色の記載とした。



凡 例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  大気質、地上気象調査地点
-  大気質、地上気象、上層気象調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。



1 : 20,000





0 200 400 800m



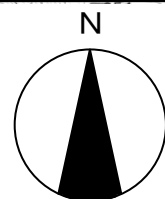
図 13-1.1(1) 現地調査地点 [大気質 : 変更前]



凡 例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  大気質、地上気象調査地点
-  大気質、地上気象、上層気象調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

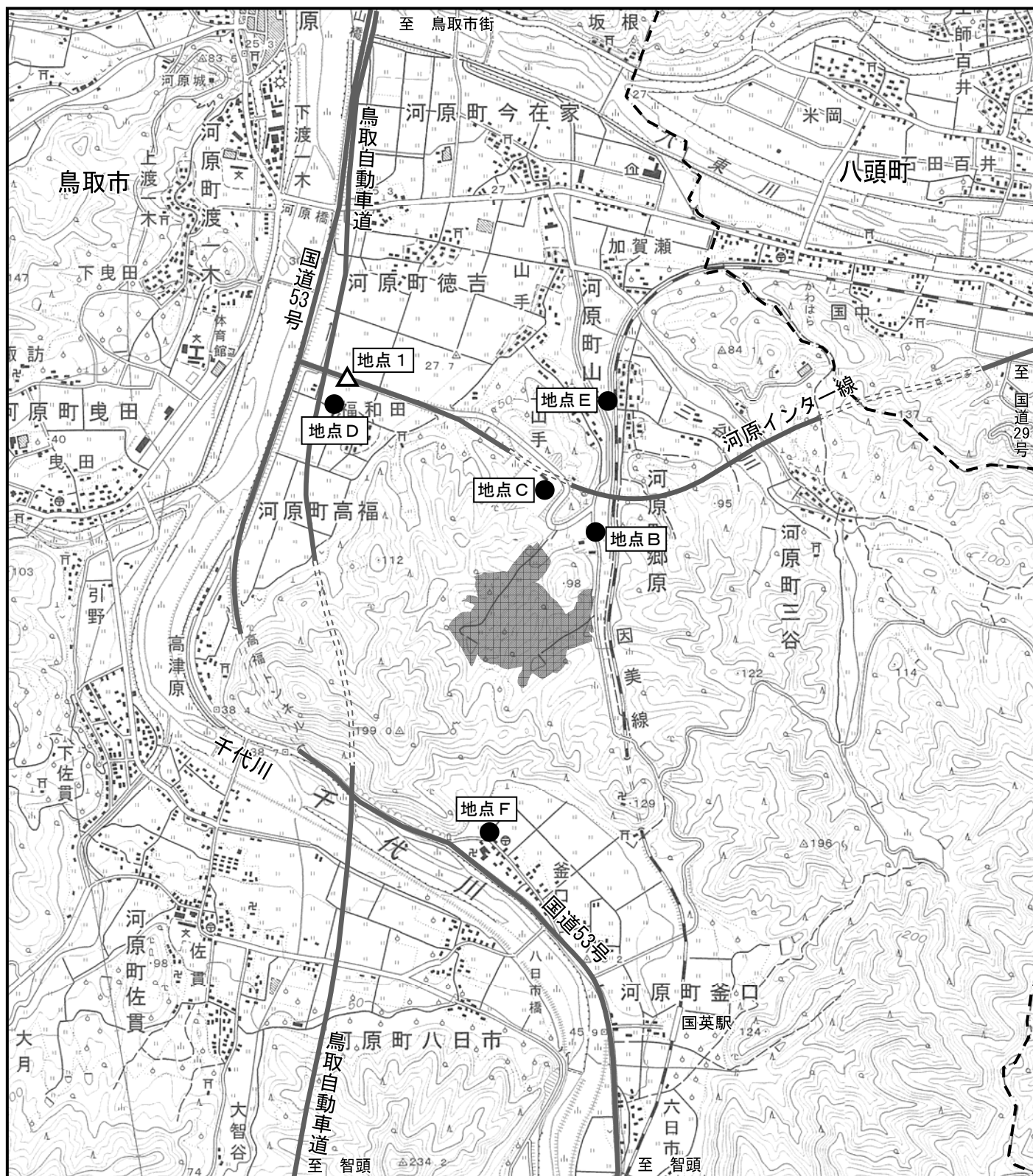


1 : 20,000





0 200 400 800m



図 13-1.1(2) 現地調査地点〔大気質：変更後〕



凡 例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  環境騒音及び環境振動調査地点
-  道路交通騒音及び道路交通振動調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図(用瀬)」を使用したものである。

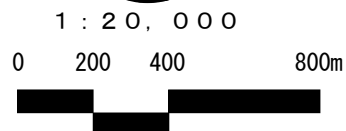
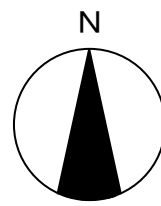
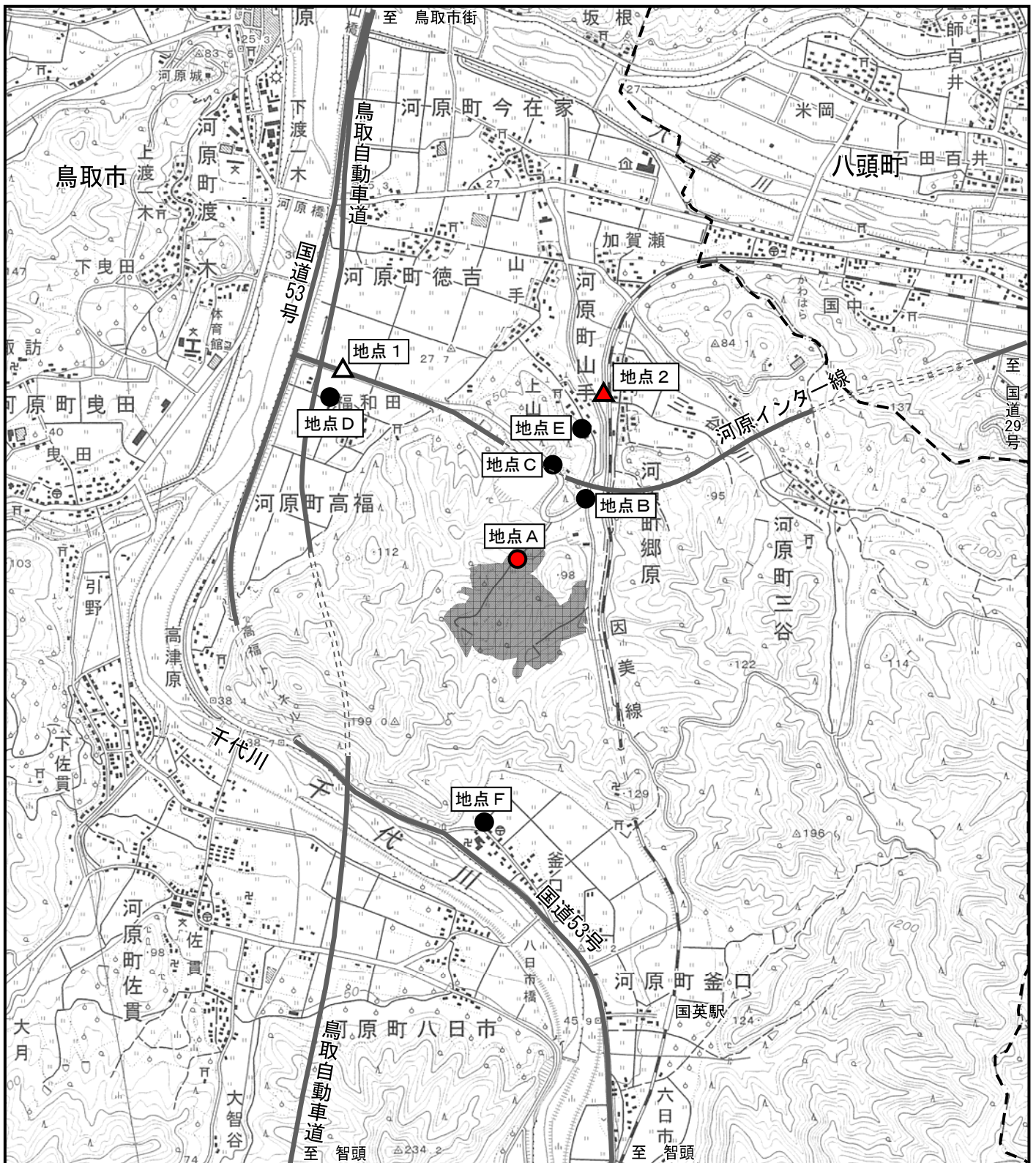


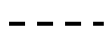
図 13-1.2(1) 現地調査地点〔騒音及び振動:変更前〕



凡 例



対象事業実施区域



市町界



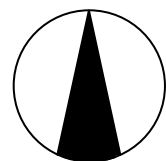
環境騒音及び環境振動調査地点



道路交通騒音及び道路交通振動調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

N



1 : 20,000




0 200 400 800m



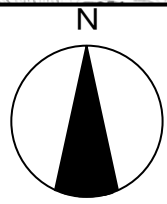
図 13-1.2(2) 現地調査地点〔騒音及び振動：変更後〕



凡 例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  悪臭調査地点

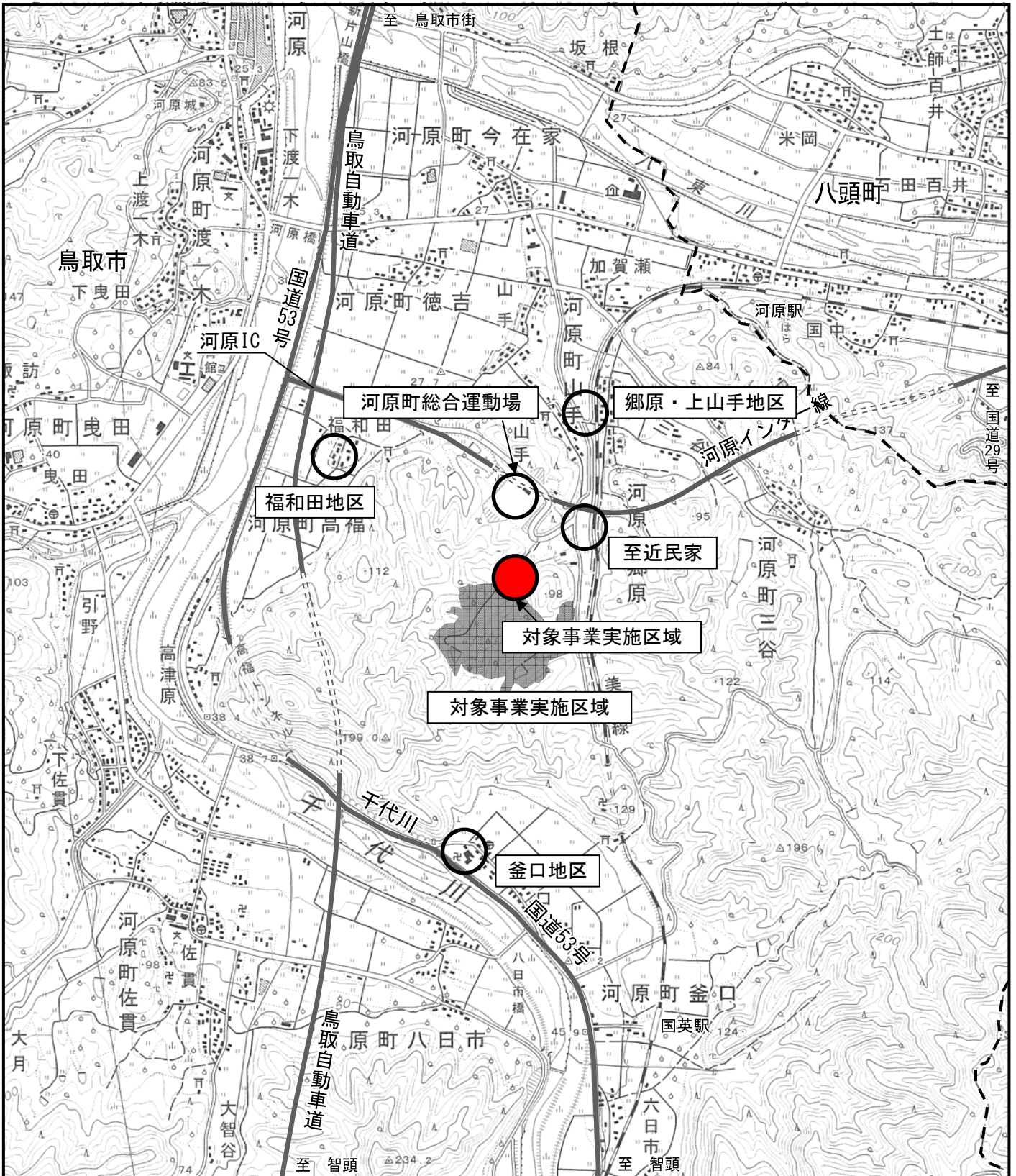
この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。






1 : 20,000



図 13-1.3(1) 現地調査地点〔悪臭：変更前〕

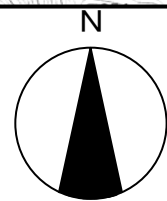


凡 例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  悪臭調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

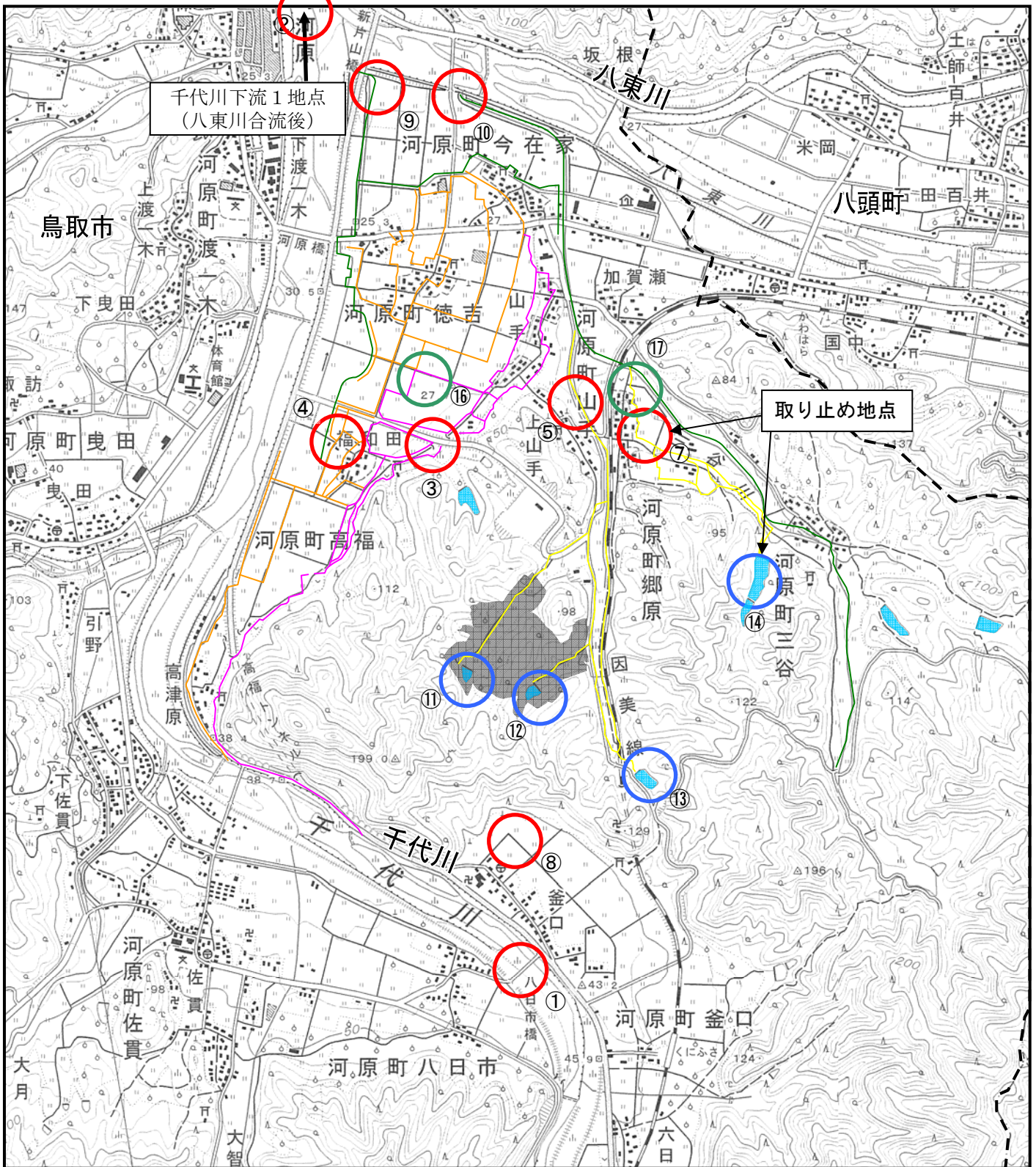
図 13-1.3(2) 現地調査地点〔悪臭：変更後〕











1 : 20,000

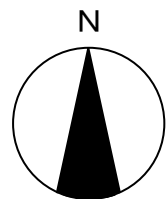
0 200 400 800m





凡 例

- | | | | |
|---|--|---|-------------|
|  | 対象事業実施区域 |  | 河川・水路水の調査地点 |
|  | 池水及び池底質の調査地点 |  | 地下水の調査地点 |
|  | ため池を水源とする水路 | | |
|  | 千代川を水源とする水路であり、対象事業実施区域が含まれる山地の裾を流れる水路 | | |
|  | 千代川を水源とする水路であり、千代川に沿って流れる水路 | | |
|  | 排水路として利用されている河川 | | |

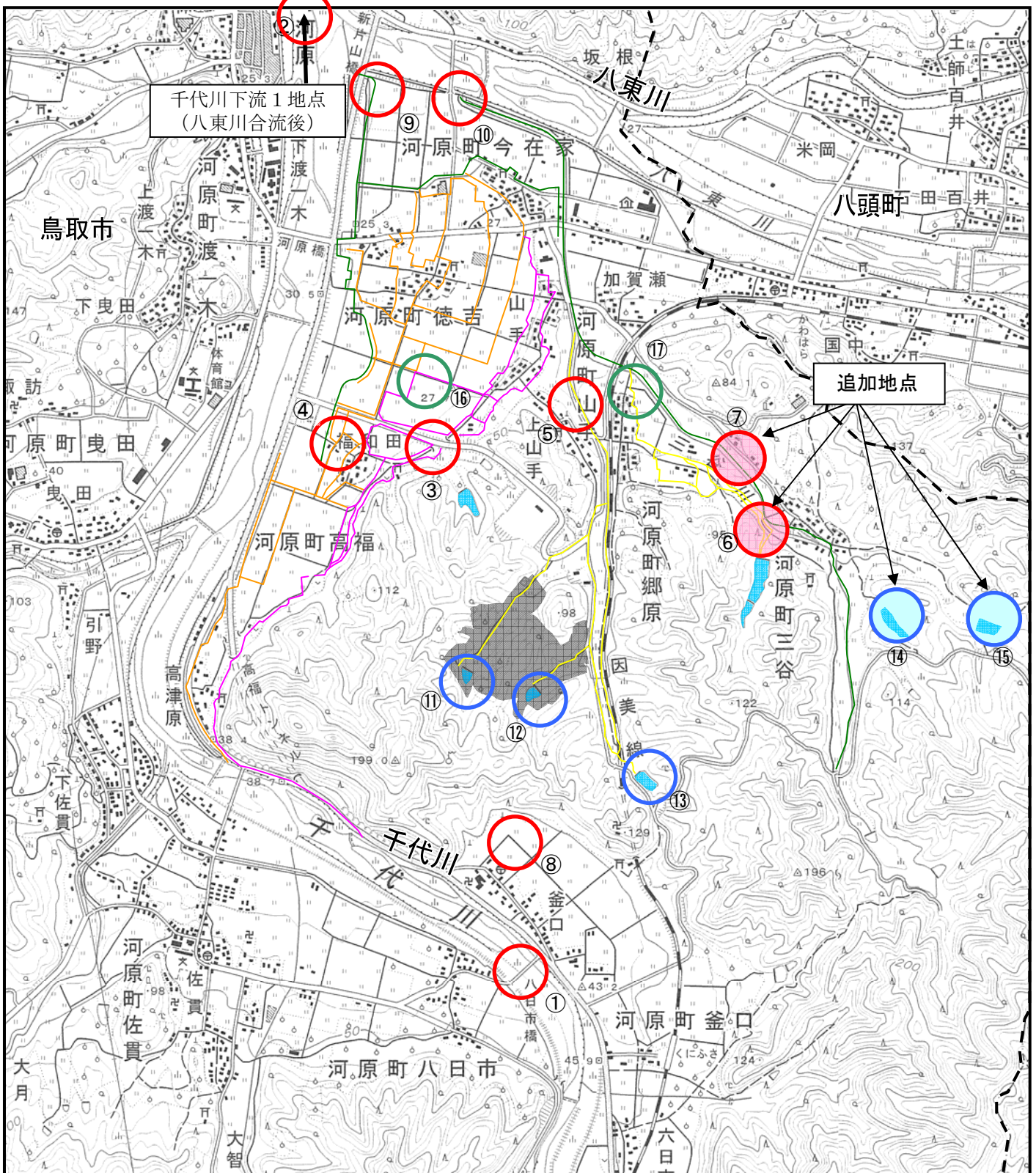


1 : 20,000









0 200 400 800m

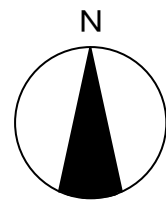


図 13-1.4(1) 現地調査地点 [水質 : 変更前]



凡 例

- | | | | |
|---|--|---|-------------|
|  | 対象事業実施区域 |  | 河川・水路水の調査地点 |
|  | 池水及び池底質の調査地点 |  | 地下水の調査地点 |
|  | ため池を水源とする水路 | | |
|  | 千代川を水源とする水路であり、対象事業実施区域が含まれる山地の裾を流れる水路 | | |
|  | 千代川を水源とする水路であり、千代川に沿って流れる水路 | | |
|  | 排水路として利用されている河川 | | |



1 : 20,000




0 200 400 800m



図 13-1.4(2) 現地調査地点〔水質：変更後〕



凡 例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  土壤汚染物質等の状況調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

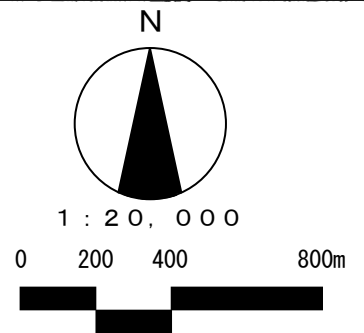





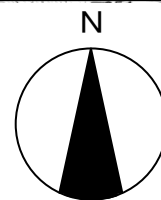
図 13-1.5(1) 現地調査地点〔土壤：変更前〕



凡例

-  対象事業実施区域
-  市町界
-  土壤汚染物質等の状況調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

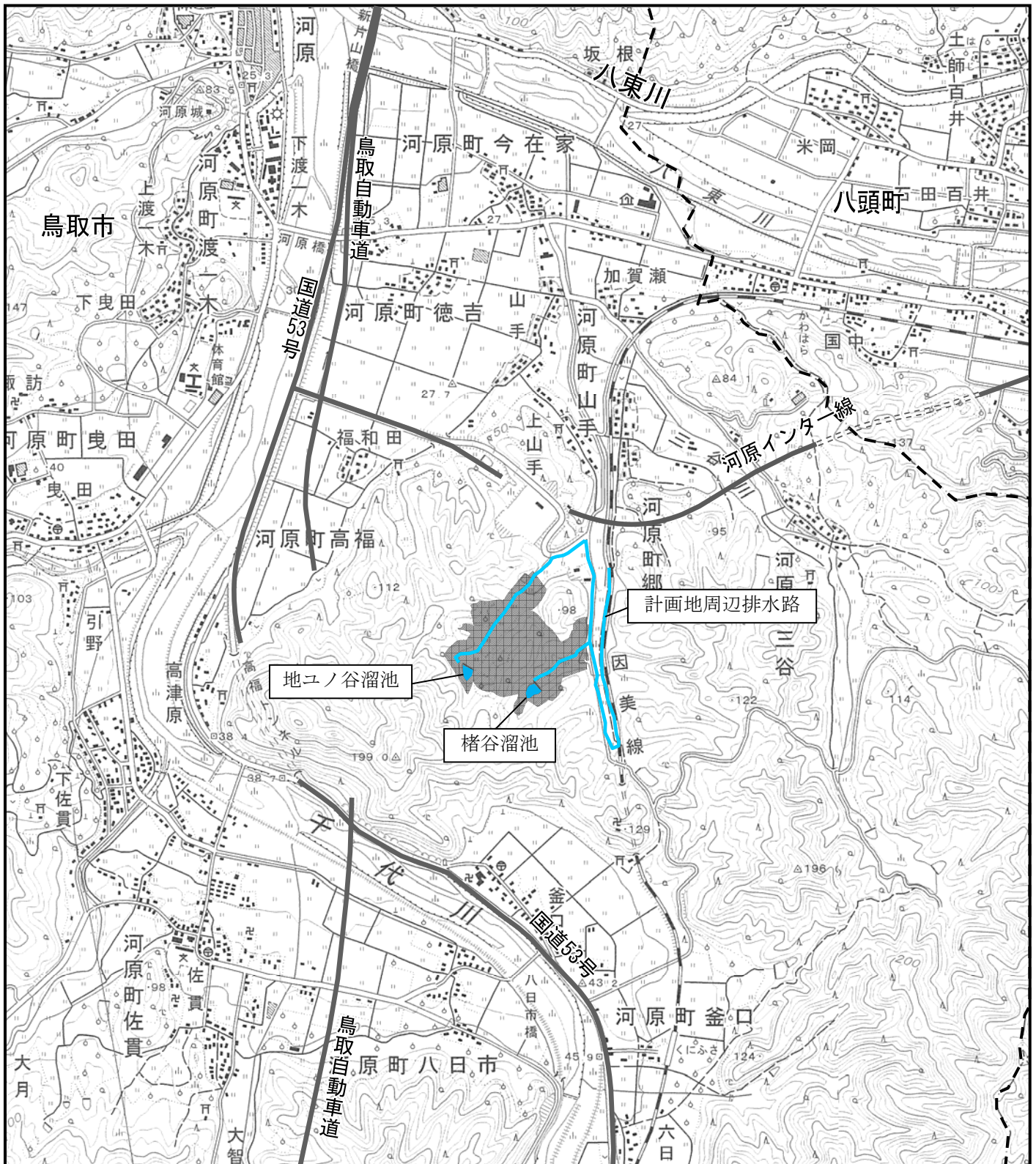


1 : 20,000



0 200 400 800m



図 13-1.5(2) 現地調査地点〔土壤：変更後〕



凡 例

-  対象事業実施区域
-  水生生物調査地点

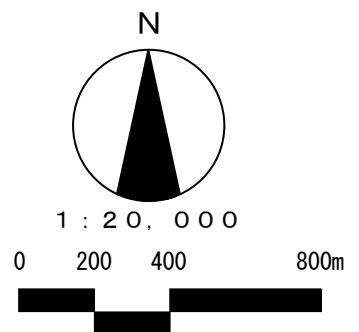
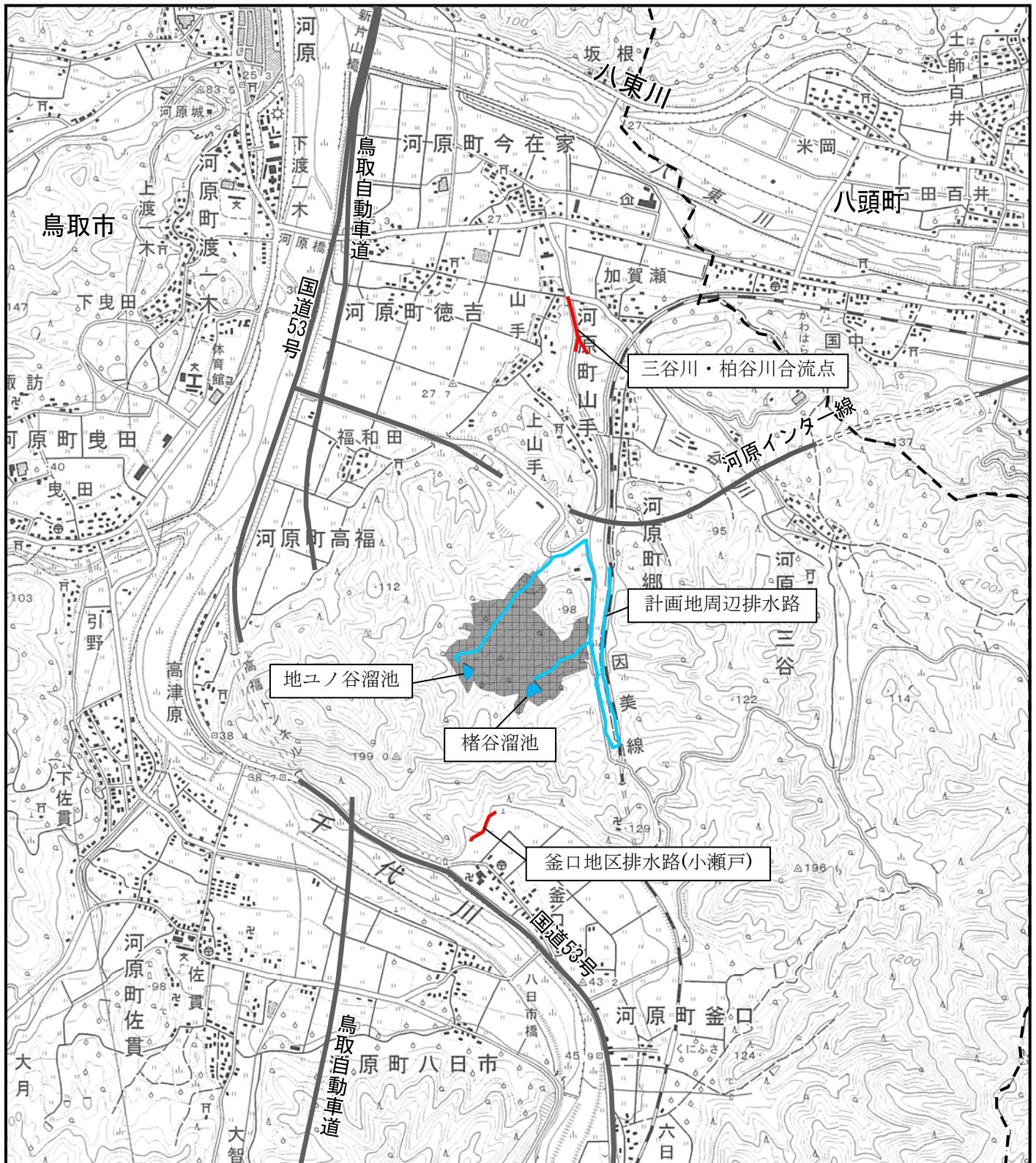




図 13-1.6(1) 現地調査地点〔水生生物：変更前〕



凡例

 対象事業実施区域

 水生生物調査地点

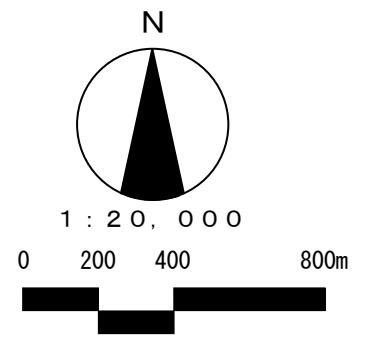
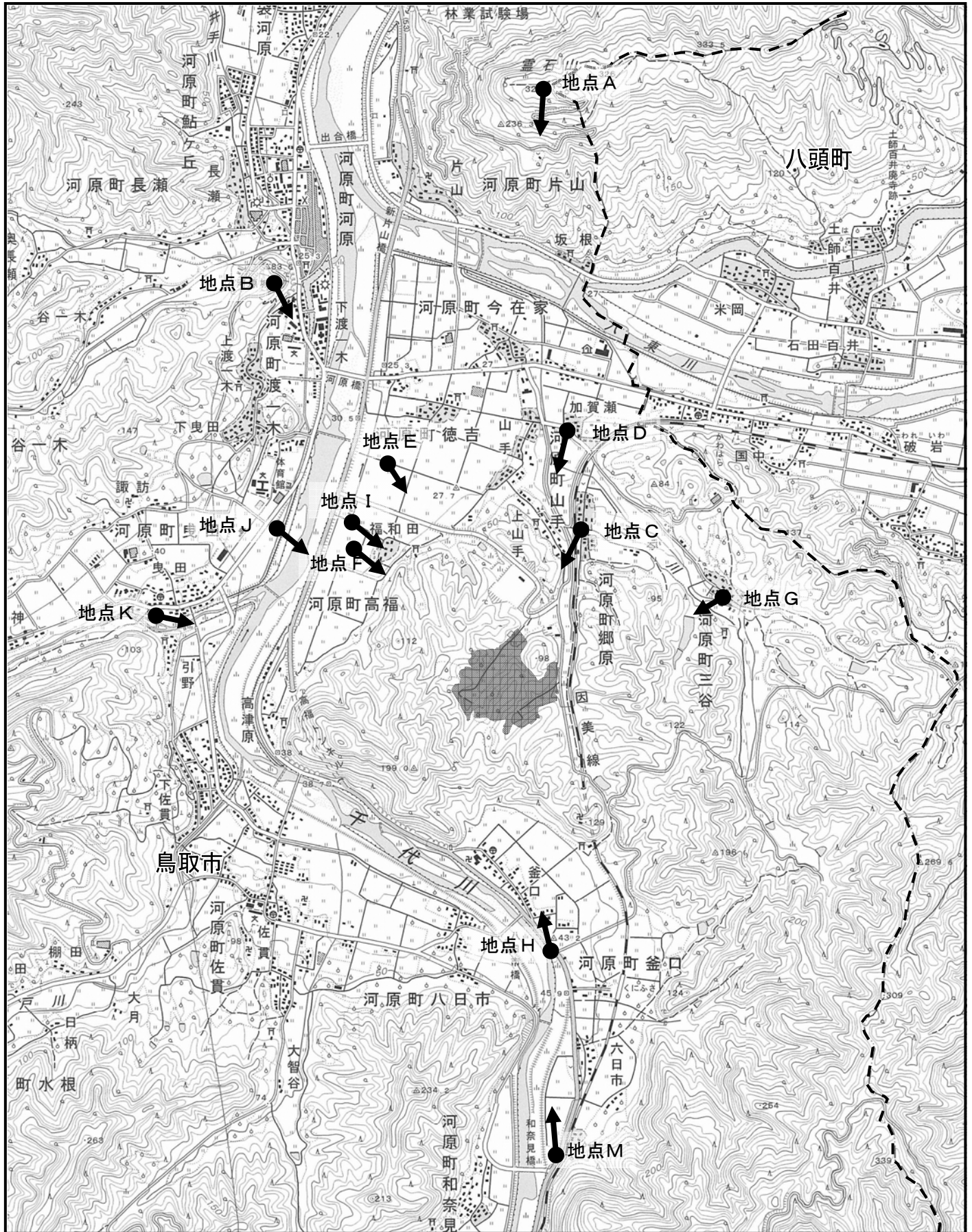




図 13-1.6 (2) 現地調査地点〔水生生物：変更後〕



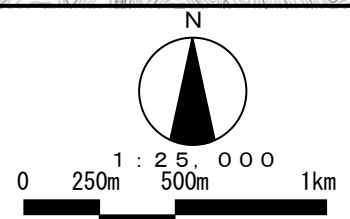
凡 例

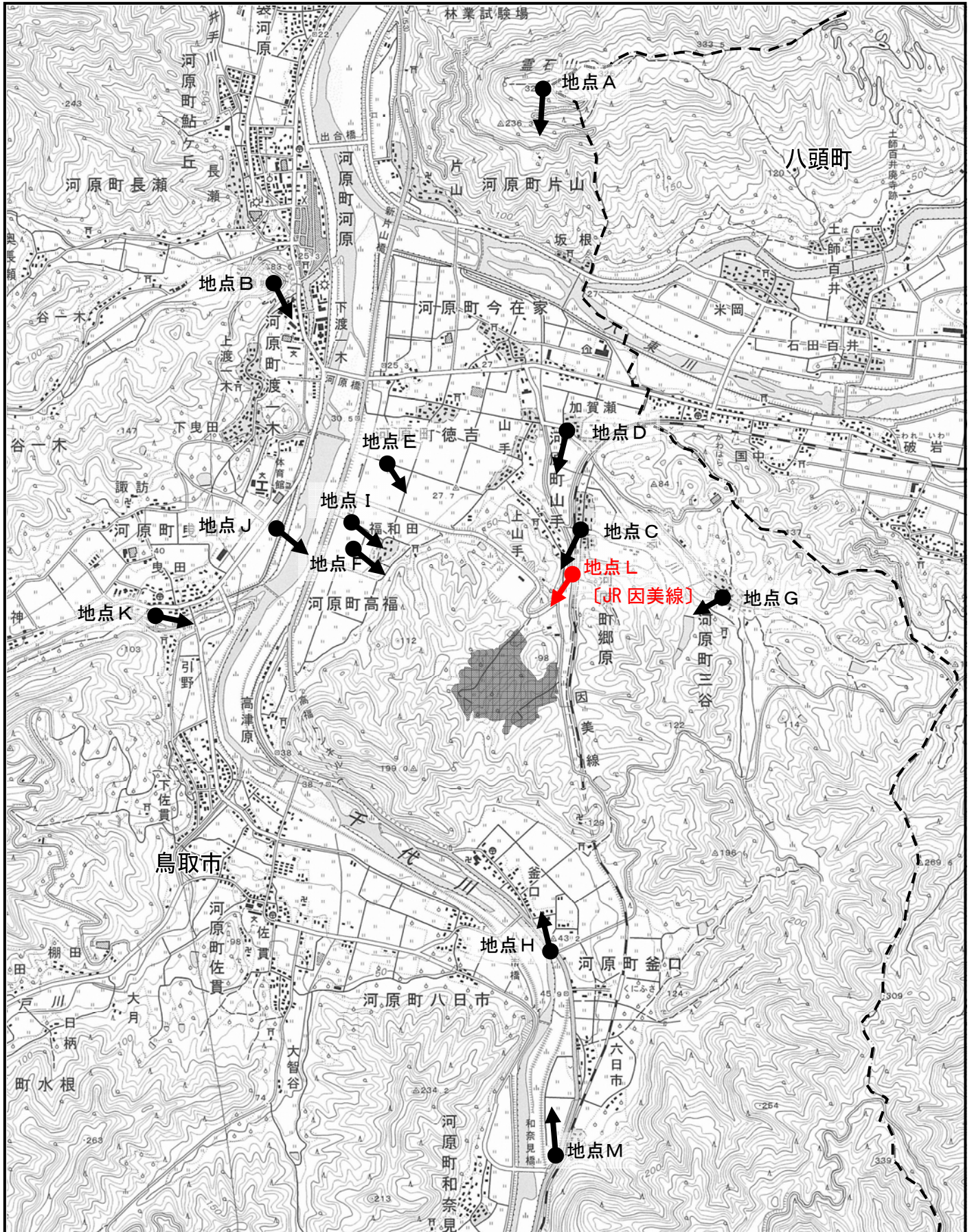
-  対象事業実施区域
-  眺望景観調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図(用瀬)」を使用したものである。

----- 市町界

図 13-1-7(1) 現地調査地点 [景観 : 変更前]





凡 例



対象事業実施区域

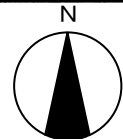


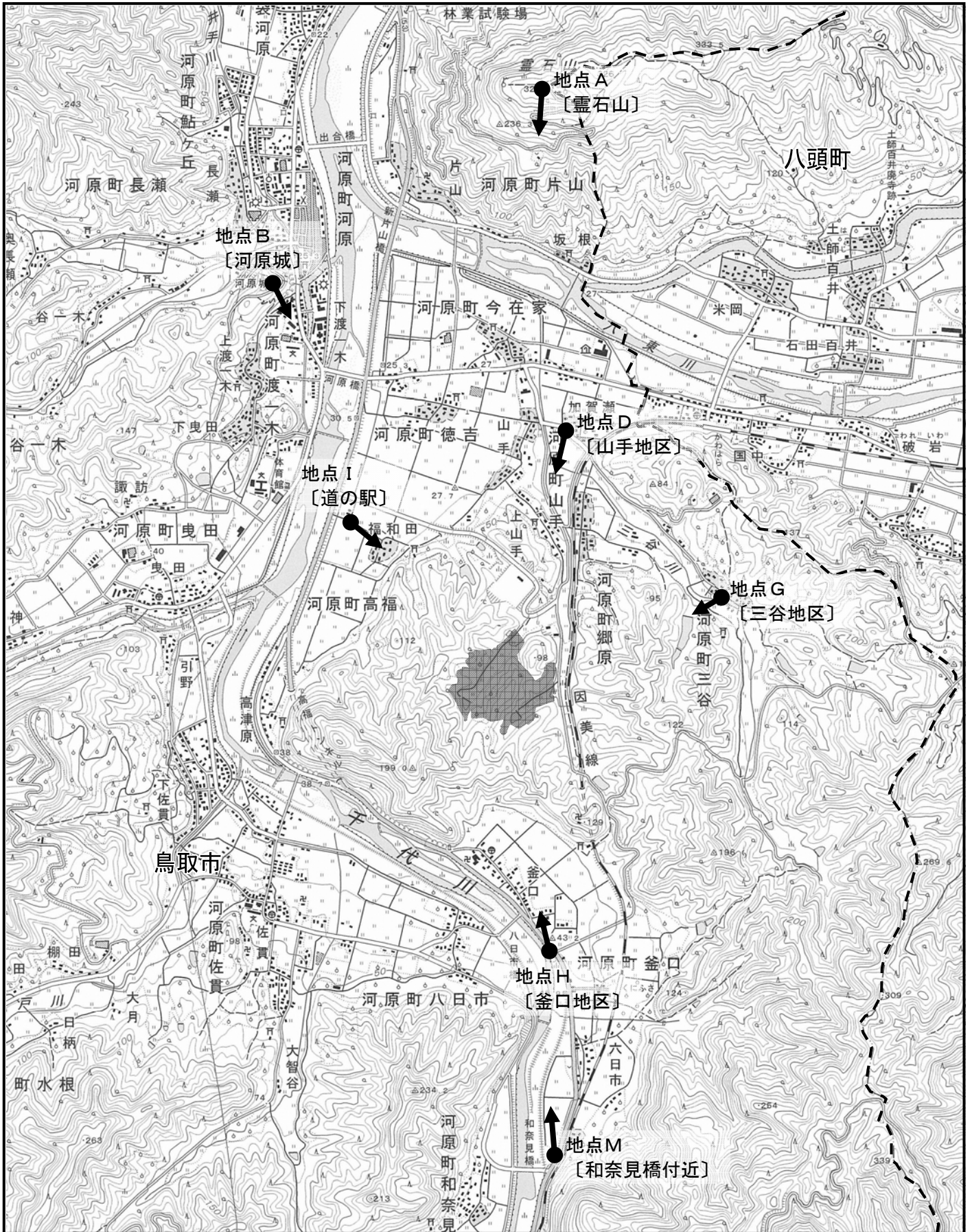
眺望景観調査地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

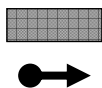
----- 市町界

図 13-1-7(2) 現地調査地点〔景観：変更後〕





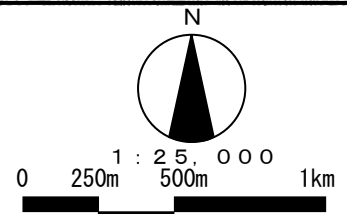
凡 例

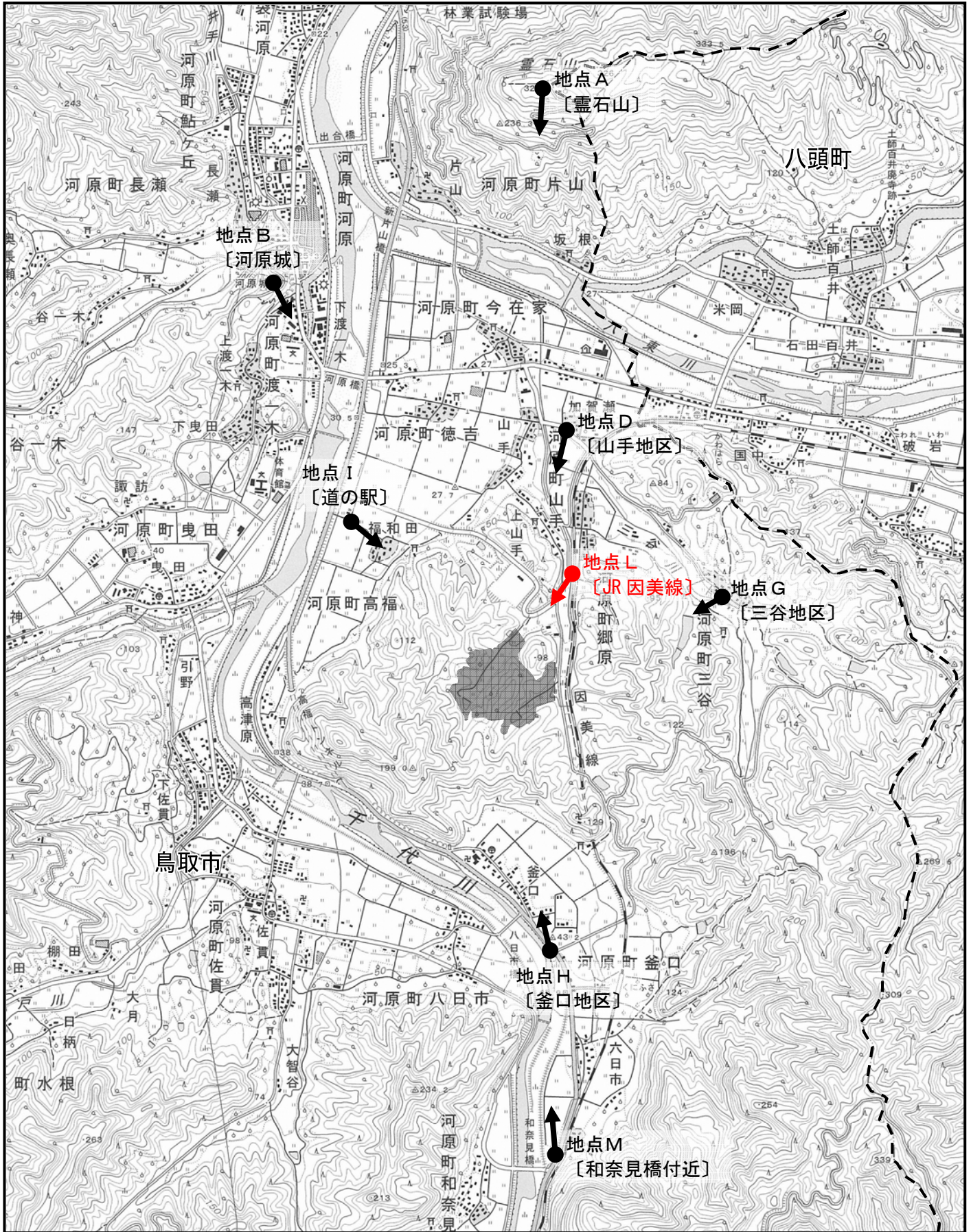


対象事業実施区域
眺望景観予測地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。
- - - 市町界

図 13-1-8(1) 予測地点 [景観 : 変更前]





凡 例



対象事業実施区域

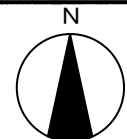


眺望景観予測地点

この地図は、国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（用瀬）」を使用したものである。

----- 市町界

図 13-1-8(2) 予測地点〔景観：変更後〕



1 : 25,000
0 250m 500m 1km